

地区ローターアクト委員会

代表 **森本 秀樹**

今年度最初のローターアクト地区行事である「第一回地区連絡協議会」と「第一回地区献血」を7月21日（日）に同日開催にて行いました。

第一回地区連絡協議会

各クラブの会長・幹事が一同に会し、全体会では献血や秋のライラに関するPR及び各クラブの活動計画の発表を行い、その後部門に分かれての分科会を行いました。

会長部門では①例会の運営状況の確認、②重点奉仕活動の発表、を行いました。各クラブの活動計画は、特色溢れる計画となっており、実りある一年を予感しました。

その後、2グループに分かれ「新入会員への会長としてのフォローアップ」というテーマでディスカッションを行いました。誰かが必ず新人を気にかけて話しかける等様々なアイデアが出ており、ローターアクトの課題でもある新人育成への足がかりになったことと思います。

幹事部門では、ホームページの紹介やクラブメール及びメーリングリストの仕組みについて、またINTEROTAとAPRRC（アジア太平洋ローターアクト会議）についての説明を行いました。次に移動例会の案内文章を参加者全員が作成しました。案内文章の作成の見直しにより細かい勘違い等に気付くことができ、今後は滞りなく文章発送が行われることと思います。実務の多い幹事職ですが、早期の段階で必要な作業について確認できたことで、今後の事務作業がより円滑に行われるのではないのでしょうか。



第一回地区献血

私たちローターアクトクラブが積極的に取り組んでいる地区献血を、新阪急ビル南側にて行いました。当日は3連休の中日でしたが、多くのローターアクターが献血の呼びかけに参加をしました。35度を超える炎天下でしたが、一人でも多くの方に献血へ協力していただけるよう、声を張り上げ、献血への参加を呼びかけました。夏は、暑さから体調を崩される方が多くなる一方で、学校や企業などの協力が得られにくく、献血者が減少してしまう季節です。そこで、私たちローターアクトクラブでは少しでも地域社会に貢献できるよう、真夏に献血活動に取り組んでいます。目標としていた、150名の受け付けには一歩及びみせませんが、受付数140名、採血数102名という多数の方々に献血を行っていただきました。喜ばしいことに、わざわざ献血会場までお越しくださいました。献血をしてくださったロータリアンの方もいらっしゃいました。



また、献血活動に対する日ごろの取り組みが認められ、厚生労働大臣に表彰される運びとなりました。賞をいただいたことを励みに、より一層活発に活動をしていく所存です。

今後も、特に私たちと同世代の若年層（献血者）に対して、献血への呼びかけを行ってまいります。今年度第2回目の地区献血は、2月15日（日）に行います。ロータリアンの皆様のご参加をお待ちしております。